

伝統工芸をみてさわって楽しもう！

MOVIE+ TOUCH&TALK PART 6

— 映画上映 + 作品鑑賞 —

日本の著名な工芸作家の作品を、もっと身近なものに感じてみませんか？

工芸作品はどのような人の手で作られ、どのような手触りなのでしょう。

記録映画の上映と、工芸館のオリジナルプログラムを同時開催します。

「Movie+Touch&Talk」で工芸作品の魅力を存分に味わってください！

開催日 平成26年2月10日(月) 14:00~16:00 (13:15受付開始)

当日工芸館は休館日、本イベントのみ開催です。受付後開演(13:15~13:55)まで、展覧会をご覧いただけます。

会場 東京国立近代美術館工芸館 (参加無料、要申込、定員50名)

プログラム



◎映画の上映「鍛金・関谷四郎—あしたをはぐむ」

《ポーラ伝統文化振興財団企画/1983年(株)日経映像製作/カラー30分》

金属加工技法の一つである鍛金は、金属板を槌で打って成形する方法です。槌を打ち付ける角度を変えることで、広げたり立ち上げたりして自在に形にすることができ、古くから武具や仏具、器等を作るのに用いられてきました。関谷四郎はこの技法で重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定。映画では鍛金に加え、色や性質の異なる複数の金属を接合する技法によって多彩な作品を生み出す作者の技に迫ります。 ※画像©ポーラ伝統文化振興財団



◎タッチ&トーク

グループに分かれ、おすすめの作品を中心に「日本伝統工芸展60年記念工芸からKOGEIへ」展(会期:12月21日~平成26年2月23日)の見どころや、さまざまなエピソードを対話形式でご紹介します。作品や資料をさわって実感できる「さわってみようコーナー」では、ケース越しでは味わえない素材や技法の魅力に存分にふれてください。工芸館ガイドスタッフ(解説ボランティア)がご案内いたします。

※写真はイメージ画像です。



《会場地図》千102-0091東京都千代田区北の丸公園1-1
東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口 徒歩8分/東京メトロ半蔵門線、東西線、都営新宿線「九段下駅」2番出口 徒歩12分

◆お申し込み方法

＜Eメール＞ event@polaculture.or.jp

下記①~⑤の項目を明記の上、Eメールにてお申し込みください。

件名には「2/10イベント申し込み」として送信下さい。

＜記入項目＞

①郵便番号、住所 ②氏名(ふりがな) ③年齢 ④職業 ⑤電話番号

⑥希望人数(2名まで、2名希望の場合は氏名(ふりがな)を記載)

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

＜応募締切＞ 平成26年1月16日(木) 必着

当選者のみ1月23日(木)までに官製ハガキをお送りします。

なお、参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、抽選発表の目的以外で利用することはありません。